



▲大湊基地がある芦崎、戦争中はここも戦場となりました。



▲常楽寺境内にある「常磐」の戦没者を慰霊するために建立した慰霊碑。

たんざく

青森の戦跡・慰霊碑を巡る④

太平洋戦争最後の海戦「大湊空襲」

現在、海上自衛隊大湊地区隊がある大湊には、戦前には大日本帝国海軍大湊警備府があり、北の守りを担う重要拠点で、軍艦や青森県と北海道にある砲台などが属していました。

大湊が空襲を受けたのは、8月9日と10日で、八戸を守って稲木が撃沈された八戸空襲の2回目(6月号掲載)・夏泊半島付近で連絡船「重庭丸」が沈没した(7月号掲載)のと同じ日の空襲です。空襲があるとわかったとき大湊湾には、「常磐」率いる機雷を敷設するために待機していた第十八戦隊や修理の為停泊していた駆逐艦「柳」など20隻があり、米軍艦載機の迎撃にでます。

しかし、「常磐」の部隊で搭載していた機雷の総数は3,000個、1個の炸薬量は800kgで、すべて合わせると2,400tにも上り、もし艦が被弾し機雷が爆発すると、「常磐」であれば1万tにも及ぶ鉄片などが大湊港を中心に数kmの範囲に降り注ぎ、大湊の人と町に壊滅的な被害を出す可能性があります。そのため、軍艦「常磐」の河西艦長は、部隊の機雷をすべて陸奥湾中央部で投棄してから艦載機の来襲に備えました。

大湊湾で、米軍艦載機を迎撃したこの戦闘は、日本で最後の海戦と言われています。このとき迎撃に出た「常磐」は米軍艦載機の空襲により被弾炎上し、107人が戦死しました。もし前述の判断がなければ、大湊の町にも甚大な被害がでていたと考えられます。

「常磐」で亡くなられた方の遺体は大湊にある常楽寺に運ばれますが、火葬場には設備が2体分しかなかったことから、野焼きで遺骨にせざるをえませんでした。登る煙に多くの人が手を合わせたと伝えられています。

戦後まもなく、戦没者を慰霊するため、常楽寺の知良住職は、托鉢で浄財を募ります。これが大湊在住の海軍関係者や当時の大湊町長などが協力し、1952年に慰霊碑が建立されました。

以前、たんざくでは当時のことを知る組合員さんと一緒に下北半島の戦跡を回ったことがあります。戦時中、不要となりそのまま残された大間鉄道の遺構・痕跡や特攻艇「震洋」の格納庫として掘削が行われている途中で終戦を迎えた場所などが下北半島の各地にひっそりとあります。遺構の中には、私有地や危険な場所にある場合もありますので、調べて行かれる際は気を付けてください。

まごころ コープ葬祭センターより重要なお知らせ

コープ葬「まごころ」のコース基本料金につきまして、昨今の燃料費、チラシ作成費、郵送料の値上がりや人件費の上昇のため、2025年9月21日受付のご葬儀より、コース基本料金を改定させていただくことになりました。

組合員様にはご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

コープ葬「まごころ」コース基本料金改定(税込)

コース名	旧コース基本料金	新コース基本料金
しゃくなげ	363,000円	473,000円
はまなす	473,000円	583,000円
あじさい	583,000円	693,000円
しらゆり	693,000円	803,000円
キリスト教式	418,000円	528,000円
神式	473,000円	583,000円
日蓮正宗式・創価学会式	473,000円	583,000円

お問い合わせ先
0120-161-812

コープ葬祭センター

月曜～金曜 9:00-17:00
【葬儀は24時間受付】

コープ葬「まごころ」の詳しい内容や積立制度については、ホームページからご確認ください。



▲コープ葬祭センターHP